

おせち料理

新年を祝う「おせち料理」は五節句の中で最も重要な節句です。年神様に捧げる料理であることから、今では正月料理に限定しているようになりました。

昔は大晦日に年神様に供えるために手間暇かけて作りました。「今年一年家族がこのような結構なものを食べて無事に暮らせませうに」と願っていた多くの「おせち料理」です。

最近ではデザートやスープ等で既製品を買ってくるのが普通ですが、昔は各家庭で作っていました。

「おせち」をいただくときは、一つ一つの料理にこめられたいわれや願いを噛みしめて味わいましょう。

海老は脱皮して成長するので生命の飛躍を連想させます。老の字は背中が曲がる程長寿で元気でいられる願いが込められています。

黒豆はまめ（健康で勤勉）に暮らせるようにとの語呂合わせです。黒色は邪悪を退ける意味があります。

蓮根は穴が沢山開いているので将来の見通しが利くとの縁起を担いでいます。かまぼこは赤い縁取りの形が初日の出を思わせます。赤は魔除け、白は清浄の象徴です。

数の子は鱧にしんの卵が数万粒あることから子孫繁栄の願いが込められています。日本人は古くから言葉に

霊力を感じる「言霊」を信じ、その言葉を使うことで縁起を担ぎ願望を実現させたいと思ってきたのです。

○語彙力チェック

①「つぶさに」の使い方として誤りは次のどれか。

A 事故の様子をつぶさに話した。

B お金をつぶさに差し出した。

C 人生の苦労をつぶさに体験した。

②「つぼにはまる」の「つぼ」の意味は次のどれか。

A 人を陥れる落とし穴 B 悲惨な状況

C ものごとの狙（ねら）い目

③「つましい」の使い方として正しいものは次のどれか。

A 貯金のためにつましい暮らしをした。

B 先生の前ではつましい態度を装った。

C 成功のためにつましい努力をした。

④「つむじ曲がり」の「つむじ」とは何か。

A へその緒 B 頭髪のうす C 人差指

⑤「詰め腹」のもとの意味はどれか。

A 着物の腹部を膨らませるもの

B 切腹すること

C お腹がいっぱいになること

（解答）① B ② C ③ A ④ B ⑤ B